

官報

昭和三十一年六月二十六日

皇室令

株式会社上華族保護資金令中
改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ
公布セシム

昭和二十年六月二十五日
宮内大臣 石渡莊太郎

前項ノ規定ニ依リ元資ニ組入レタル
金額ハ元資ヨリ生ヌル收入ノ減少其
ノ他特別ノ事由アルトキニ限りソラ
毎年ノ保護金及經費ニ參ツルコトサ

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

軍令

朕國民義勇戰鬪隊統率令ヲ
制定シ之ガ施行ヲ命ズ

昭和二十年六月二十三日
海軍大臣　米内

第一條 第二條 第三條 第四條 第五條 第六條
官隊長ハ當該所在地管領ノ各鐵道局各
運輸局、及之ニ準ダル機關ノ設立ル
聯合義勇戰隊長ハ鐵道(通有)義勇
戰隊司令官ニ上記以外ノ第三條第一
項ノ聯合義勇戰隊長ハ所在地管領
ノ地圖令金官若ハ鐵道(通有)府令令
長官又ハ陸軍大臣若ハ海軍大臣ノ定
ムル長官ニ隸シ職務業務遂行上ノ所
要ノ事項ニ關シハ陸軍大臣又ハ海軍
大臣ノ定ムル所ニ依リ各關係ノ長
官ノ同族ヲ承ケ聯合義勇戰隊ヲ統
率ス
第十二條 義勇戰隊長ハ義勇戰隊隊

一、國民義勇戰闘隊員ハ夫々隸屬文
二、ハ指揮關係ニ在ル一般軍人竝ニ國
民義勇戰闘隊員各長ニ對シ夫々敬
禮ヲ行
三、國民義勇戰闘隊員ト指揮又ハ隸
屬關係ニ在フザル一般軍人トノ間
及國民義勇戰闘隊員相互ノ間ニ
リハ置宜競職有フノ體トス
四、國民義勇戰闘隊員ハ單獨及部隊
ノ競職ヲ行ノセド、小銃、槍等兵器
器ノ操作ニ依ル競職ヲ有ハザルヲ
例トス
五、國民義勇戰闘隊ハ儀式ヲ行ハサ
ルコト不得

ヲ以フ編成スル部隊ノ編制、隸屬、職質、懲罰、禮式等其ノ統率ニ關シ
必要ナル事項ハ別ニ定ムルモノ外
本令ノ定ムル所ニ依ル

本令三於ヲハ以下前項ノ部隊ヲ總稱
ヘル場合國民義勇戰闘隊ト稱ス、
第二條 義勇兵役法ノ適用ヲ受クル者
ソ以テ各地地方ニ聯合義勇戰闘隊ヲ編
成ス

第三條 前條ノ外特ニ各邊境局（各邊
信局）及之ニ沿ヌル關稅局（特ニ其
ノ規範ノ大ナル軍需品生產會社其ノ
他陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ定ム）職
域等ニ前條ノ願領ヲ準用シ國民義勇
隊開隊ヲ編成ス

國民義勇隊關防所管ノ軍管區司令官、船舶司令官、鎮守府總參謀官、府司令官、長官又ハ之同等以主ノ權アル其ノ隸屬スル其他ノ長官ノ定ムル所ニ依ル
編成下令ノ時機ハ前項ノ長官陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ認可ヲ承々之ノ定ム但シ事務ヲ要するル場合ハ當該長官又ハ其ノ定ムル者於テ之ノ下令スルヨリトテ其ノ場合ニ在リアハ直ニ之ノ陸軍大臣又ハ海軍大臣ニ報告各ルモノトス

長八義勇職關戰隊(風隊)(分隊)指揮人
第十六條 長八義勇職關戰隊(風隊)(分隊)
長八義勇職關戰隊(風隊)(分隊)
長八義勇職關戰隊(風隊)(分隊)
ノ命ノ承ケ義勇職關戰隊(風隊)(分隊)指揮人
第十七條 義勇職關戰隊(風隊)(分隊)
長八義勇職關戰隊(風隊)(分隊)
ノ命ノ承ケ義勇職關戰隊(風隊)(分隊)指揮人
第十八條 義勇職關戰隊(風隊)(分隊)
ノ指揮權屬區分八第一條又ハ第三條
ニ定ムル國民義勇職關戰隊(編制)從

第六條 第二條及第三條ノ制訂並
條職名及職員數ハ必要ニ應シ陸軍大臣
臣及海軍大臣協議ノ上之、變更、省
略又ハ新設スルコトヲ因此ノ場合合ニ
ナリテハ陸軍大臣又ハ海軍大臣之ヲ
上開ニ達スルモノトス

第十三條 聯合義勇戰團義勇戰團之發
隊長六聯合義勇戰團義勇戰團之發
命之發令應之大各隊長之發
ノ指揮ノ

